

平成29年5月26日

まちづくり活動提案書

(地域“魅力”アップ部門 ・ “はじめの一步”部門)

※助成を受けようとする部門を○で囲んで下さい

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

団 体 名	ふるさと徳重まちづくり会		
提 案 名	「ひと・まち・歴史 歌でつながる ふるさと徳重」		
提案活動を行う地域	緑区徳重小学校学区地内		
提案の背景	<p>(活動を提案するに至る問題・課題などの背景を、簡潔にご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新住民の急激な増加により新旧住民とのつながりが希薄化。 ・新住民のわが町意識や町内会への関心の希薄化、町内会加入率の低さ。 ・宅地化の進展による自然、緑地の減少。 ・住民が共有できる地域の誇り（シンボル）が少ない。 		
提案活動の目的・目標	<p>(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください)</p> <p>■目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが気軽に親しむことができる歌を通じて、多世代間の交流を深めるとともに、地域への理解と愛着を育てる。 <p>■今年度の目標と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌や踊りで世代間の交流機会を増やし、きずなを着実に強める。 ・歌や踊り、歴史講座を通して住民（特に子ども達）の「心のふるさと」を育む。 ・わが町への関心を高め、地域活動への参加や町内会加入を進める。 		
提案の内容	<p>(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 住民の作詞、作曲、振り付けによる「徳重の歌」（音頭、中学生合唱）を作成し広めることで、地域のつながりと誇りを育てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・音頭は、子ども会、老人クラブなど各団体を中心に、日常的な活動などで広く歌って踊って、楽しく交流を図る。 ・夏祭り、コミセン祭り、敬老会など学区イベントで活用し楽しんでもらいながら、地域のシンボルとして認知度と誇りを高める。 ・上記の取り組みを効果的に進めるために、CDを作成する。 2 歌に込められたまちへの思いや地域の宝を広めるために、「徳重の由来」がわかる資料を作成し、身近な地域について学ぶ「歴史講座」を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ・徳重の歴史に関しては、知る機会が少ないので、地域散策や郷土史家の協力などにより、「徳重の由来」がわかるパンフレットを作成し、新規町内加入者などに配布する。 ・地元の郷土史家に講師をお願いして、「徳重の歴史講座」を年2回（①講義、②地域探索）実施する。 ・「徳重」という地名や、「扇川」などの地域の共有の財産について学び、歌に込められた思いを深く理解する講座にする。 		
活動期間	平成29年月～平成30年3月	助成金交付申請額	300千円

2 提案内容の視点

以下の視点で提案内容についてご記入ください。

- 審査基準①
必要性
- ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か
 - ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か
 - ・地域との連携や協力が得られる活動か
 - ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か
 - ・工事を伴う活動の場合、公益性、公共性のあるものか

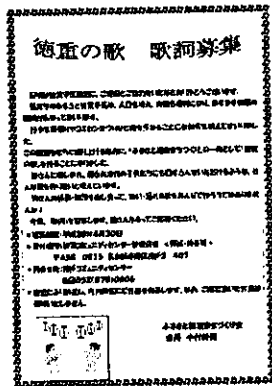
(提案活動の必要性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)
※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。

- ・過去の実績を踏まえて、今回も、区政協力員、学校、老人クラブ、子ども会など地域の各種団体と連携しながら進めており、地域ぐるみの取組であるといえる。
- ・地域への愛着や誇りを持つには、普段知る機会がない徳重の歴史や文化、地域の魅力を見出し、楽しくわかりやすく伝える必要がある。
- ・住みよいまちづくりには多世代間のつながりが必要であり、そのためには、子供から大人まで誰もが参加して楽しめる歌や歴史の勉強を提案する。

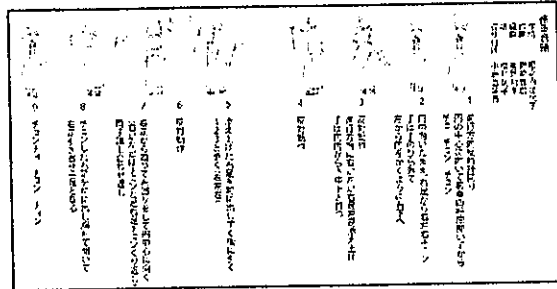
- 審査基準②
独創性
- ・創意工夫にあふれた活動か
 - ・地域性を活かした個性豊かな活動か
 - ・新しい視点やアイデアがあるか

(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

- ・この地域は急激な宅地開発により、緑地や自然が減少している。残された自然や文化を活かしてこの地域ならではの新たなシンボルを作成し共有する新しいチャレンジである。
- ・まちづくりには、これから地域を担う子どもたちの参加や関心が必要であり、そのために、「合唱」を通じた中学生の主体的な関わりの機会とする。
- ・まちづくりに地元の中学校の協力を得られたことは、とても有意義だと考える。
- ・歌の作詞・作曲、振り付けは、全て徳重学区に住む地域住民のスキルや特技を活かしており、この地域のオリジナリティあふれるものである。また、地域活動における住民の参画や活躍の舞台づくりにも大きく寄与している(参考①・②)。



(参考①) 平成28年3~4月に学区住民向けに徳重の歌の歌詞を募集した際のチラシ。大勢の応募があり、学区の女性の歌詞が選ばれた。



(参考②) 地元の舞踊の先生の指導を受けて、振り付けを検討中。また、イラストの得意な地域の男性が、説明用の資料作成を進めている。

- 審査基準③
実現性
- ・提案内容が具体的になっているか
 - ・自己資金を含め、活動内容や資金計画などは妥当か
 - ・場所や人員、規模などは妥当か

(提案活動の実現性について上記観点から分かりやすくご記入ください。)

- ・「徳重の歌」合唱部門は地元の中学の合唱部の協力を得て進めている。
- ・徳重音頭は、夏祭りに向けて地元の踊りの指導者に依頼し、創作を進めている。
- ・老人クラブ、子ども会など各団体の行事や、夏祭り、コミセン祭り、敬老会などでの活用を依頼しており、今後の活動の1つとして予定してもらっている。
- ・歴史講座の講師は、既に地元の郷土歴史家に依頼し快諾を得ていることから、資金面でも人材面でも概ね実現可能であると思われる。

審査基準④ 発展性	・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか ・工事を伴う活動の場合、成果物はまちづくりにどのように活かされるか
--------------	--

(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

- ・今回のオリジナルな歌づくりは、地域住民に地域活動に対する関心を高めるとともに、地域に愛着を高めてもらえるものとする。
- ・歌や踊りを通して多世代間の交流も深まり地域活動の活発化が見込まれる。
- ・将来的には「徳重の歌」の発表会の開催や、地域のイベントの開催ごとに歌ったり踊ったりして楽しむ機会を増やす。
- ・若者にはふるさとの自慢の一つとして活用してもらおう。
- ・中学生の参加は、今後の地域活動に若者の参加を促す手がかりとなる。

※「地域まちづくり構想」を踏まえて計画的・持続的に活動します！

名古屋市まちづくり企画課の支援を受けて、地域まちづくり構想「なごやかタウン徳重まちづくり構想」を平成 29 年 3 月に策定。同構想で、「サロンや歌できずなを育むプロジェクト」を計画的に進めており、今回の活動もその一環として位置づけている。

審査基準⑤ 活動実績 と主体性	・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか ・具体的にどんな熱意を注いでいるか ・工事を伴う活動の場合、自ら主体となって工事を行い、継続的に維持管理する能力があるか
-----------------------	--

※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。

※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。
この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。

(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。)

- ・「ふるさと徳重まちづくり会」は、「歌づくり」をはじめ「扇川みんなで清掃・花植えプロジェクト」、「子供や高齢者を事故や犯罪から守る安全プロジェクト」、「多世代参加型防災運動会プロジェクト」、「サロンや歌で絆を育むプロジェクト」、「町内会、老人会、子ども会等加入促進プロジェクト」など実施している。
- ・今回の活動はこれらの活動と密接なつながりを持っています。
- ・また今回の活動は、歌の作詞、作曲をはじめ踊りの振付、郷土の歴史家による講座など地域住民が主体となった活動である。

3 提案活動にあたり他団体、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等と取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
徳重学区連絡協議会 名古屋市立扇台中学校 扇クラブ(豊詞貴会)	・「徳重の歌」の普及・啓発 ・合唱による歌作りへの協力、お披露目 ・踊りの指導

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。